

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年6月6日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		5月の価格動向				生育及び価格の6月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額				
			上旬	中旬	下旬		
葉 茎 菜	キャベツ	80.35	55	40	52	・入荷見込量：15,911t (100) ・主産地：千葉 (50)、茨城 (20)、東京 (6)、群馬 (5)	・千葉産・茨城産ともに生育が順調で平年並みの出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並み又は弱含みに推移する見込み。
		86.69	60	47	56	・入荷見込量：3,900t (110) ・主産地：茨城 (27)、愛知 (25)、兵庫 (21)、長野 (7)、福岡 (6)	
	ねぎ (関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ)	264.1	311	319	347	・入荷見込数量：4,217t (100) ・主産地：茨城 (64)、千葉 (18)、輸入 (7)	・茨城産は出荷のピーク、肥大も進み生育は順調だが、降雨のため収穫作業に遅れがでており一時的に少なめの出荷となっている。天候が回復すれば前年を上回る出荷となる見込み。千葉産も順調な出荷の見込み。 ・茨城産の出荷量の回復が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
		334.73	275	251	292	・入荷見込数量：230t (99) ・主産地：徳島 (24)、香川 (24)、大阪 (16)、奈良 (15)、高知 (8)、三重 (6)	
	はくさい	67.05	28	26	35	・入荷見込量：5,336t (99) ・主産地：長野 (47)、茨城 (38)、群馬 (14)	・長野産は低温と降雨の影響でやや少なめの出荷となっているが、天候が回復すれば、順調な生育となり平年並みの出荷となる見込み。茨城産は出荷の終盤を迎え20日をメドに出荷終了となるが、平年を上回る出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並み又は弱含みに推移する見込み。
		82.06	57	56	75	・入荷見込量：2,800t (106) ・主産地：長野 (64)、茨城 (21)、	
	ほうれんそう	376.1	321	394	427	・入荷見込量：1,663t (99) ・主産地：群馬 (30)、茨城 (22)、栃木 (16)、岩手 (14)、埼玉 (8)	・群馬産は出荷量が回復し、前年並みの出荷の見込み。茨城産は出荷制限の影響で少なめの播種となり、前年を下回る出荷となっている。 ・群馬産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		396.89	334	410	477	・入荷見込量：500t (91) ・主産地：岐阜 (73)、北海道 (10)、奈良 (7)	
	レタス	164.45	110	101	115	・入荷見込量：8,112t (100) ・主産地：長野 (69)、群馬 (19)	・長野産・群馬産ともに生育は順調で、平年を若干上回る出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並み又は弱含みに推移する見込み。
		173.68	125	105	125	・入荷見込量：1,900t (105) ・主産地：長野 (91)、兵庫 (7)	
	たまねぎ	71.02	87	77	57	・入荷見込量：11,922t (110) ・主産地：佐賀 (59)、香川 (9)、兵庫 (9)、輸入 (3)、愛知 (2)	・佐賀産は順調な生育で平年より多めの出荷となっていたが、今後は貯蔵ものの出荷となり、平年並みの出荷の見込み。香川産は平年より10日程度遅れての出荷となるが、肥大も進み順調な出荷の見込み。兵庫産の生育は順調で、平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・府県産の潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		71.02	79	65	59	・入荷見込量：3,400t (90) ・主産地：兵庫 (58)、佐賀 (28)、大阪 (7)	
果 菜	きゅうり	189.84	174	198	257	・入荷見込量：7,649t (98) ・主産地：埼玉 (32)、群馬 (15)、茨城 (12)、福島 (12)、千葉 (9)、栃木 (6)	・埼玉産・群馬産ともに低温と降雨の影響で少なめの出荷となっているが、天候が回復すれば生育が回復し出荷量は増加する見込み。 ・出荷量の回復が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
		177.22	156	197	257	・入荷見込量：1,600t (84) ・主産地：宮崎 (30)、福島 (10)、愛媛 (10)、高知 (9)、徳島 (8)、香川 (8)、北海道 (6)	
	トマト	209.6	254	238	226	・入荷見込量：9,490t (105) ・主産地：栃木 (19)、茨城 (17)、千葉 (14)、愛知 (11)、熊本 (9)、群馬 (7)、埼玉 (5)	・栃木産・茨城産ともに順調な生育、出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		228.5	256	210	220	・入荷見込量：1,900t (111) ・主産地：熊本 (23)、愛知 (15)、福岡 (14)、北海道 (13)、石川 (10)、徳島 (7)	
	なす	297.1	312	303	306	・入荷見込量：4,205t (98) ・主産地：高知 (28)、群馬 (17)、福岡 (17)、茨城 (10)、栃木 (8)、埼玉 (6)	・高知産は出荷のピークを過ぎ出荷の終盤、曇雨天の影響で少なめの出荷の見込み。群馬産は、中旬以降増加する見込み。 ・群馬産の出荷が順調と見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		285.3	283	267	288	・入荷見込量：1,150t (110) ・主産地：大阪 (25)、高知 (21)、福岡 (13)、岡山 (13)、熊本 (10)、奈良 (8)	
	ピーマン	308.36	239	218	238	・入荷見込量：2,408t (103) ・主産地：茨城 (90)	・茨城産の生育は順調で、中旬までが出荷のピーク、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		283.1	212	192	220	・入荷見込量：360t (100) ・主産地：宮崎 (41)、高知 (27)、和歌山 (16)、大分 (8)	
根 菜	だいこん	91.15	54	57	75	・入荷見込量：8,633t (100) ・主産地：青森 (52)、千葉 (32)、北海道 (6)	・青森産は、3月の播種時期の降雨の影響による5日間程度の生育の遅れと最近の低温と降雨の影響で少なめの出荷量で推移する見込み。千葉産は、降雨の影響で収穫作業が遅れ、少なめの出荷となっているが、天候が回復すれば出荷量は回復する見込み。 ・青森産の本格的な出荷が遅れていることから出荷量は少なめで、価格は平年をやや上回って推移する見込み。
		104.71	49	44	64	・入荷見込量：2,600t (90) ・主産地：青森 (33)、長崎 (18)、北海道 (15)	
	にんじん	156.99	145	134	116	・入荷見込量：6,407t (102) ・主産地：千葉 (72)、埼玉 (15)、輸入 (3)	・千葉産は肥大が進み生育が順調で、前年並みの出荷の見込み。埼玉産は順調な生育で今が出荷のピーク、20日頃まで出荷が続く見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		156.17	136	117	99	・入荷見込量：2,200t (103) ・主産地：長崎 (33)、和歌山 (24)、徳島 (13)、愛知 (8)、宮崎 (8)、兵庫 (7)	

種類		5月の価格動向				生育及び価格の6月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額			
			上旬	中旬	下旬	
い も	さといも	－				・鹿児島産は、1月の低温、梅雨の降雨等の影響で生育・出荷が遅れ、小玉傾向で少なめの出荷となり今後も前年を下回る出荷となる見込み。宮崎産も1月の低温の影響で生育・出荷が2～3週間遅れ小玉傾向だが、今後は天候の回復とともに生育が進み前年並みの出荷となる見込み。 ・価格は平年並みに推移する見込み。
		－				
	ばれいしょ	131.8	181	208	198	・長崎産は、梅雨の降雨の影響で収穫は遅れているが、生育は回復傾向にあり、6月いっぱいには潤沢な出荷の見込み。静岡産は、生育が遅れ中旬から本格的な出荷の見込み。 ・価格は、平年より高めながら平年に近づく見込み。
		131.8	224	265	205	

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
2) 旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。
3) 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。
2) 主産地は東京都及び大阪市中心卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、4月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,796gで対前年比106%、購入金額は、1,789円で同95%となり、購入量は前年を上回ったが、購入金額は前年を下回った。

また、小売物価統計によると、5月のキャベツの小売価格は123円で過去5年平均比66%、レタスは296円で同74%となり、キャベツ、レタスともに過去5年比を下回り、特にキャベツが大きく下回った。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年		過去5か年平均		平成22年		平成23年			
月	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比	
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101	
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103	
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101	
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95	
5月	5,094	1,902	4,925	1,965		0		0	
6月	5,033	1,880	5,026	1,907		0		0	
7月	4,438	1,683	4,264	1,697		0		0	
8月	4,272	1,732	4,241	1,733		0		0	
9月	4,868	1,806	4,606	1,818		0		0	
10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0	
11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0	
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0	

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都都区部)の推移

(単位:円/kg)

キャベツ			レタス			
	過去5か年平均	平成23年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成23年	5か年比(%)
H22.7月	149	164	110	315	317	101
8月	159	166	104	449	536	119
9月	153	155	101	472	515	109
10月	146	192	132	419	668	159
11月	129	265	205	339	520	153
12月	146	185	127	456	393	86
H23.1月	189	186	98	618	502	81
2月	173	228	132	496	635	128
3月	181	206	114	455	435	96
4月	250	195	78	464	348	75
5月	185	123	66	399	296	74
6月	159		0	360		0

注1:過去5か年はH22.7～はH17～H21、H23.1～はH18～H22の平均

注2:5月の値は、5月中旬の速報値

資料:総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成23年4月までの輸入量を貿易統計で見ると、生鮮野菜は前年同期比130%の38万トン、野菜輸入量全体で見ると同117%の96万トン、うち中国産は同123%の47万トンとなり、引き続き前年を上回って推移している。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)

区分	平成21年		平成22年		平成23年1～4月		平成23年4月
		前年比		前年比	前年同期比	前年同期比	
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	378,261	130	118
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	586,128	110	102
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	964,389	117	107
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	469,341	123	110
中国産シェア	50		51		49		

資料：ペジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2010.5	(B)2011.5	(B)/(A)
たまねぎ	合計	20,065	17,158	86
	中国	14,447	13,078	91
	ニュージーランド	4,131	1,973	48
にんじん	合計	5,961	5,513	92
	中国	3,939	4,057	103
	ニュージーランド	1,309	1,021	78
ねぎ	合計	3,615	2,555	71
	中国	3,613	2,552	71

資料：農林水産省「植物防疫統計」（2011.5）は、5月21日までの速報値である。

4 トピック

4月の輸入動向について

4月の輸入量を前年と比較すると、輸入量の多いたまねぎ、にんじんなどを含む生鮮野菜が前年比18%増の95千トンとなり、野菜の輸入量全体も前年比7%増の248千トンとなった。

一方、前月と比較すると、順調な国産野菜の供給をうけて生鮮野菜は前月比18%減、全体では同7%の減となった。

また、冷凍野菜の推移を見ると、前年比2%減、前月比2%増の76千トンとなり、内訳をみると最も多いばれいしょが前年比15%減、前月比16%減となるなか、ほうれんそうは前年比86%増、前月比34%増の2千8百トンとなり、出荷制限指示の影響をうけて増加していることがうかがえる。

今のところ、ほうれんそうを除いて震災の影響は少ないと考えられる。

平成23年4月の野菜の輸入量、対前年同月、対前月比

【当月】

23.4月

生鮮野菜(94,899t)
(たまねぎ、キャベツ、にんじん等)

冷凍野菜(75,514t)
(ばれいしょ、えだまめ、スイートコーン等)

その他(77,163t)
(塩漬野菜、乾燥野菜、トマト加工品等)

総量 247,575t

【前年同月】

22.4月

生鮮野菜(80,624t)

冷凍野菜(76,895t)

その他(72,821t)

総量 230,341t

【前月】

23.3月

生鮮野菜(115,349t)

冷凍野菜(74,162t)

その他(77,332t)

総量 266,843t

主な輸入野菜の対前年、対前月数量の増減

たまねぎ(生鮮)

前年比較 (20%)

前月比較 (-23%)

にんじん(生鮮)

前年比較 (98%)

前月比較 (-23%)

ばれいしょ(冷凍)

前年比較 (-15%)

前月比較 (-16%)

ほうれんそう(冷凍)

前年比較 (86%)

前月比較 (34%)

資料:ペジ探 原資料:財務省 貿易統計

【大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました！(直接契約課)】
★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yaiukyu01_000076.html
●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484